

科目名	ビジネストレーニング 1							年度	2025
英語科目名	Business Training 1							学期	前期
学科・学年	音響芸術科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	野村大輔	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン・クリエイター		
【科目の目的】									
A. 映像編集に加えて、テロップやサウンドの編集も同時に行える B. 映像制作が出来オーダーに沿った内容と時間にまとめられる C. WebやSNSなどに作成した映像を公開することができる									
【科目の概要】									
ビジネスとして成立する映像制作の手法と知識を獲得し、スキルアップを目指します。									
【到達目標】									
ビジネスとして成立する映像制作の手法と知識を獲得し、スキルアップを目指します。									
【授業の注意点】									
音を扱うプロとしてノイズと捉えられる授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。 公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。 授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	映像編集に加えて、テロップやサウンドの編集も同時に行える。	映像編集に加えて、サウンドの編集も同時に行える。	映像編集に加えて、テロップの編集も同時に行える。	映像編集が出来、不要なシーンを選別できる。	映像の編集ができない。				
到達目標 B	映像制作が出来オーダーに沿った内容と時間にまとめられる。	映像制作が出来、決められた時間内にまとめられる。	映像制作が出来オーダーに沿った内容に沿う事が出来る。	映像制作が出来オーダー意味が理解できる。	映像制作はできが、決められた時間を超えてしまう。				
到達目標 C	WebやSNSなどに作成した映像を公開することができる。	YouTubeやInstagram等の各プラットフォームにチャンネル開設することができる。	YouTubeやInstagram等の各プラットフォームを閲覧する事ができる。	YouTubeやInstagram等で著名な、インフルエンサーを知っている。	SNS等がうまく活用できない。				
【教科書】									
適時プリントを配布									
【参考資料】									
特になし									
【成績の評価方法・評価基準】									
評価基準はルーブリック評価に基づいて行う。授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

